

柏市第五次総合計画が目指す まちづくり

柏市は今後どんなまちをつくるの？

柏市は先進的で、将来にわたって持続可能な、地域課題を克服した暮らしやすいまちをつくれます。

柏市は商業都市として発展、また都市近郊のベッドタウンとして成長してきましたが、今後は人口減少や少子高齢化、大幅な経済成長が見込めない社会環境といった課題も柏市全体で考えていかなければなりません。これらの課題を克服するまちづくりの大切な視点を「先進的」「持続可能」「地域課題の克服」という3つに定め、市民・事業者・教育機関・行政などが、理想のまちのイメージを共有して一体となって取り組めるように、次のような将来都市像を設定します。

未来へつづく先進住環境都市・柏
～笑顔と元気が輪となり広がる交流拠点～

具体的にどんなことをするの？

「子ども」「健康」「活力」の3つを
重点的なテーマにしたまちづくりに取り組みます。

重点目標 ① 充実した教育が実感でき、
子どもを安心して産み育てられるまち

これまでの柏市は、商業のにぎわいや交通の利便性などの強みを背景に子育て世代が多く転入してきましたが、様々な場所で開発が進み交通網が発達する中では、これまでの強みが相対的に弱まっているといえます。これまで以上に子どもにとっても親にとっても魅力あるまちを目指すため、

- ①教育環境の充実
- ②子どもの育ちと子育ての支援
- ③親子が安心、楽しめる環境づくり などに取り組みます。

重点目標 ② 健康寿命を延ばし、
いつまでもいきいきと暮らせるまち

若い世代からの生涯を通じた積極的な健康づくりは、高齢者になっても生活の質が維持できるようになり、体力低下の予防や社会保障費の抑制などこれからの高齢化社会を支えることにもつながります。また、高齢者の中でも活動的に過ごしている人もたくさんいることから、社会活動などの参加を促進することで、地域の活力、高齢者の孤立化解消などにもつながります。これらのことから、

- ①健康寿命の延伸
- ②生きがいと充実感が得られる環境づくり などに取り組みます。

重点目標 ③ 地域の魅力や特性を活かし、
人が集う活力あふれるまち

柏駅周辺はまさしく“柏の顔”として、多くの人が集まりにぎわう活力の象徴でしたが、柏の活力を一層引き上げるために、柏駅周辺とともに、手賀沼をはじめとする自然や農業などの産業、大学等の教育研究機関、スポーツや文化など多くの地域資源を活かし、つなげる

- ①多様な地域資源を活かしたまちづくり
- ②柏の良いイメージづくり などに取り組みます。



北 部ゾーン

都市の活力と自然環境が調和

利根川やあけぼの山公園などの自然に恵まれながら、最先端の研究を推進する大学や研究機関などもある都市の活力と自然環境が調和した地域です。また、つくばエクスプレスや常磐自動車道など、都心へのアクセスが良好なため、人口増加や企業進出が見込まれています。柏の葉キャンパス駅周辺地区では“公・民・学”が連携して環境や健康などの社会的課題の解決につながる先駆的なまちづくりが進められています。



中 央ゾーン

“柏の顔”として発展

柏駅、国道6号・16号を有する広域的な交通の要衝であり、柏駅周辺にはデパートや個性的な店舗が多数立地して、人が集まり活力・賑わいのある“柏の顔”として、また千葉県北西部の中心的機能として発展してきた地域です。近年は郊外型の大型店舗の進出などによって商業面の相対的な競争力の低下も懸念されることから、駅周辺の魅力や吸引力をより立てる取組などが今後求められています。



今の柏を知って、これからの街のことをもっと身近に考えよう。

KASHIWA

これからのまちづくりを知る前に、まずは柏市の特徴をおさえましょう。

北部・南部・中央・東部の4ゾーンに分けて
それぞれの地域をご紹介します。

柏市プロフィール

面積: 114,74平方キロメートル
人口: 411,703人(平成28年2月1日現在)
(男204,032人 女207,671人)
市の花: シバザクラ、カタクリ、ヒマワリ
市の鳥: オナガ



南 部ゾーン

豊かな潤いとやすらぎ

NHK連続テレビ小説「マッサン」でも話題となったニッカウヰスキーの工場がある豊かな緑と水に囲まれた潤いのある地域で、柏市が急速に発展した昭和40年代前後から多くの住宅地が形成されてきました。古くから発展した地域でもあることから、高齢化の影響に伴う課題も認識され、地域に即したまちづくりの取組が求められています。また、大学と連携した地域の活性化などの新しいまちづくりの取組も行われています。



東 部ゾーン

手賀沼を中心とした 自然と活気があふれる地域

手賀沼や山林、昔ながらの田園風景などの自然が豊富に残された貴重な地域である一方、国道沿いには工業団地が立地し、平成28年には大型商業施設がオープンする予定となっていて新たな地域活力の向上が期待される地域です。市民の憩いの場でもある手賀沼は、周辺に広がる農業なども活かしながら、柏市の新たな魅力をもつ場所になるよう取組を進めているところです。

